

NO. 115

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724(83)4653

挑戦

会長 遠健三

新しい年を迎え、早三月とになりました。当初、今年こそとの思いに満ちて、定めた新しい目標、さく実行に移すべく、まざまざ思いを巡らしているうち、不安迷いが生じて、今の自分の力で、果して本望にできるのかどうか、周到万全な準備をと、あれこれ考を過ぎた結果、困難ばかりが目につくようになり、臆する心が起ってくる。未知のことより、むしろ、目標に取り組むのに、不安や迷いがある。当然、むしう、ない方が危険である。しかし、臆する心を振り払って、挑戦することなしに、勝利はあり得ない。困難が大きければ、大きいほど、得られる喜びも果実も大きい。自分の力も伸びる。

さあ、せいかく「これぞ」と思いを定めた決意に、自分の内に秘められた無限の可能性を信じ、自分で自分を、また、会員と励まし合せて、日々のトレーニングに、また、ランニング大会に挑戦しよう。

健康と心のフレッシュに挑戦しよう。

篠山マラソン大会

泉南走ろう会より八名も参加する



今回は先日の岸和田マラソンより寒々がましか。みんなが元気だ。栗野原、梶本、牧野、岡田、宮下、石橋の各氏として、遠。例年一番電車にて大阪へ向う。大阪よりマラソンバスにて会場へ。別便にて川本先生、計八名参加。特筆されることは、川本先生、念願のサブスリーにて、完走。敬意と拍手を贈ります。人が言う「若いからなめ」と、私は思う。若いだけではありません。川本先生の限りなき探究心、自己記録への挑戦ではなかつかと思えます。何故ならば、私の知る限り、平均として若い人はフルマラソンは駄目です。国際級はいざ知らず、このことは、私がかつて長巻で行なわれているフルマラソン大会の役員をしておりまして、その時知りました。若い人は駄目なものと。それなのに川本先生は、飽くなく向上心、中身のゆがみに敬服いたします。今回はフルマラソンを終って、会場より帰る時、私達に、友達と一緒に帰らねばならぬから、お先に」とニコニコと笑顔で帰られました。昨年の憤然として帰られた時と、えらい違いでした。

さて、今回の篠山マラソンもホッポ、ステア、アランドジャンポだと、岸和田を走り、そして篠山、次は六甲金山縦走タイムトライアル参加だという不心得な人がおられますが、まあ、いいでしょう。これもある人が言う。「あんなのメリハリがない。一発勝負をかけたのと、あんなのその辺の道走っているのと、何等変らない」と、そう言うです。その通りです。只、場所を代えて走っているだけだ。別にどうということはない。与えられたチャンスとをこなして行なうだけだ。意気や仕なり。健康に充分注意して下さい。あかんと思いたならば、簡単にリタイヤして下さい。今更、ジタバタすることもない。岸和田、篠山に参加、充分トレーニングが出来たと思えば、細心の注意とリフレッシュ、体の調節だけです。ゆっくりと頑張ります。

篠山マラソンの参加の記事、少しもの足りないですが、後の杯。榮レさ等々、書きたいのですが、次に参加させていただきます。篠山マラソンの原稿を依頼してありますので、会員の皆様、次々に御期待下さい。

遠 健三

1万1209人が
健脚を競う

篠山ABCマラソン
別篠山ABCマラソン大会(朝日放送と主催、朝日新聞社など後援)が十日、兵庫県篠山市で開かれた。住民手作りのフルマラソンで、西日本では最大規模。横濱、北海道から神奈川まで四十三都府県のサラリーマン約10万人、万二千二百九十八人(女子三千三百四十人)が健脚を競った。

初めての駅伝

梶本邦光

大会の二、三日前から寒気あり微熱があつて、完全な風邪の症状。よほど石橋君に電話して、出場を辞退しようかとも真剣に考えたけど、フルメンバで編成しているチーム事情もあり、迷惑もかけられないので、電話での出場辞退は断念した。「大会当日春みたいな陽気であれば何とかなるやろ」という淡い期待も完全に打ち砕かれて、朝から冷たい雨。

体調、天候共に最悪。できることなら、生まれて初めての駅伝大会出場、体調万全・快晴のもとで、さつそうとかつこよく走りたかつたけれど、息は苦しく足は上がらず、全くヨレヨレ、ヨタヨタ。必死の思いで、やつとの思いで、夢遊病者のようなフラフラの状態ですきを渡した。つらかつた。しんどかつた。苦しかつたけど、初めての雨中の駅伝という私にとって貴重な体験をさせていただき、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

後のインディアンサマーでの慰労会では、皆さんに迷惑をかけて申し訳なく思っています。

心に偽りなし

真鍋康之

チームの一員として走ることに責任、そして、走り終えたあとの充実感をみんなでわかちあえた、貴重な体験でした。

感想

北島治男

二月十日の朝、雨が降っていたので、昨年の駅伝大会のことを思い出して、「今年も中止かなあ」と考えつつ、浜寺公園へと向かつた。

会場に到着後、今年行われるとのこと、ひじょうに緊張した。というのも、ここ一、二年練習もあまりできず、ましてや雨中の競技に備えての練習などしてないものですから。

でも、走り終えた後は、ここち良い疲労感に少し振りにひたる事ができ、参加させてもらえて良かったと思つています。これからは、できるだけ例会に参加できるようにして、会員の皆様ともお話しさせていただきながら、最終目標のフルマラソン完走をめざして、がんばりたいと思います。

ただ一言

佐野耕治

予想よりタイムが良かったので、うれしかつた。

※原稿は到着順に載せていただきます。

お知らせ

一、例会日 三月二十四日

一、集合同所 新家駅前九時三十分

九時四十五分乗車、北畠山行

新会員の招り

河里容子

〒442 海南市黒江

TEL. 七三三

松井裕香

〒599-02 阪南町和泉鳥取

TEL. 七二一

（入会動機）フルマラソンを完走したい。

六十谷駅下車。砂川より乗車の方ほどの時間に間に合わせて下さい。

一、コース 六十谷より墓の谷、雲峠、山中沢、約十五キロ、時間二時間三十分程

二、備考、い、雨決行、雨天の場合は新家駅より別なコースを走りま

す。着替、タオル、サブライク、御持参下さい。

ハ、ランニング終了後、六甲山縦走タイムトライアルの打ち合わせを行ないます。

ニ、四月十四日例会日は集合同所、所は泉南市体育館。

コースは皆と相談して決める。